

世界への挑戦でつなく、次への一歩



有光 良次さん 牧羊犬の世界大会に挑戦

● 世界大会「ワールドシーブドックトライアル2026」とは

令和8年9月17日から20日まで英国スコットランドで開催された「ワールドシーブドックトライアル2026」に、日本代表として、有光 良次さん（下トマム）と5歳のボーダーコリー・ジプシーちゃんが挑戦しました。この大会は3年に1度開かれる牧羊犬の世界大会です。犬とハンドラーが連携して羊を誘導する技術を競います。

● 出場の意義と今後の目標

有光さん・ジプシーちゃんペアは、残念ながら結果を残すことができませんでしたが、有光さんは「大会出場そのものに意義があった」と語ります。

日本では、羊牧場や競技人口が少なく、牧羊犬競技の認知度もまだ十分とはいえません。有光さんは、世界大会への挑戦を通じて競技を知る人が増え、参加者が広がることで日本の羊飼い全体の技術向上につながることを目指しています。さらに、有光さん自身が大会を開催し、競技の普及に力を入れています。この大会は、日本代表経験者との実力差を知り、目標を設定する場にもなり、世界大会を目指すきっかけづくりにもなっています。

● 挑戦が未来を切り拓く

悔しい結果となった今回の世界大会ですが、有光さんの挑戦は、日本の牧羊犬競技の認知拡大と技術向上に向けた大きな一歩となりました。これからも競技の普及に取り組み、さらなる活躍が期待されます。



編集後記

10月1日より広報の担当となりました。安藤です。

異動3日目で早速、トマム学校・保育所合同同学芸会の取材がありました。前日まで一眼レフの電源の入れ方もわからず、うまく撮れるのか不安、会場にいる地域の方々から温かい声をかけていただき、少し安心することができました。

どの部署でも同様ですが、この一か月で住民の皆さまと他部署の職員の協力があってこそ仕事が成り立つことを実感しました。皆さまに楽しみにしていただけるような広報紙を作成し、お返しできればと思います。

（安藤）

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。

広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。

■人口・世帯数（9月末住民基本台帳登録数）

人口	男	女	世帯数
1,343人(-3)	709人(+5)	634人(-8)	965(-6)

《うち外国人の人数 387人》

中 央	占 冠	双珠別	トマム	出 生	死 亡	転 入	転 出
587人	66人	37人	653人	1人	0人	33人	36人



広報しむかっぱは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。

発行／占冠村 編集／企画商工課 印刷／(株)総北海

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 ☎ 0167-56-2124 FAX 0167-56-2184

占冠村ではホームページを開設しています。アドレス <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>